

脱炭素セミナー 最近の動向説明

岐阜信金

岐阜信用金庫は、脱炭素に関するセミナーを可児市内で開いた。写真。同金庫の大野達哉理事・成長戦略部長らが、最近の脱炭素に関する動向や補助金の情報などについて説明した。

県可児工業団地協同組合に所属する同市の企業など製造業を中心に約50社が参加した。

セミナーでは、「気候関連財務情報開示タスクフォース(TCFD)」やRE100といった脱炭素関連



のさまざまな指標があることや、世界の脱炭素に向けた取り組みを紹介。国内でも大手企業を中心に取り組みが強化されており、サプライチェーン(供給網)全体での脱炭素化が求められていることも訴えた。資金調達で活用できる補助金情報のほか、同金庫が業務提携するe-dash(東京都)の二酸化炭素排出量の可視化ツールも案内した。今月14日には、同金庫が経済産業省と環境省の職員を講師に迎えた参加無料の

オンラインセミナーを開催する予定。脱炭素、省エネルギーに関する今後の注目施策がテーマで、定員は400人。問い合わせは同金庫成長戦略サポートデスク、電話058(266)2328。